

# 土木費

〔質疑〕河川堤防除草業務委託料28万5千円が計上されているが、どの河川を指した業務なのか伺う。

〔答弁〕この委託料は、宮城県管理河川の堤防除草に係るもので、白石川、大太郎川、児捨川、天津沢川、斎川、谷津川の市内6河川となっている。

〔質疑〕6河川の除草ということだが、どの程度の業務を行うのか。

〔答弁〕この6河川の除草面積は、約11万平方メートルとなっており、のり面の除草を中心に作業を委託するもので、県の仕様に基づき、発注の準備をしている。

# 教育費

〔質疑〕部活動指導員報酬48万円とあるが、部活動指導員と外部指導員との違いについて伺う。

〔答弁〕本市では平成30年度まで宮城県の運動部活動外部指導員派遣事業を活用し、各中学校の要望を受け、外部指導員をお願いしてきた。

外部指導員は、生徒への実技指導にのみ携わるものであったが、今年度から配置する部活動指導員は、生徒への実技指導に加え、大会や練習試合の引率、生徒指導に係る対応、安全・障害予防に関する指導、指導計画の作成、部活動の管理運営、保護者への連絡、用具・施設の点検管理に携わることができ、この点が大きな違いとなっている。

〔質疑〕本年度からの活用について、配置することの効果と具体的な配置内容を伺う。

〔答弁〕部活動指導員は、年間を通じた指導計画の作成や安全指導、大会への引率、保護者との連携に携わることができるところから、より充実した生徒への指導が可能になる。

さらに、生徒の心身ともにバランスのとれた生活や教職員ライフワークバランスの実現

にも効果があると考えている。今年度は本市のモデル事業として、まず白石中学校に2名、剣道部とサッカー部に配置し、期間については、7月から翌年3月までの配置としている。

## ◎令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)

〔質疑〕今回、生活基盤施設耐震化等交付金を新たに利用し、国道113号の基幹管路老朽管を整備することだが、来年度以降もこのような交付金を利用する見込みや計画はあるのか伺う。

〔答弁〕本市における水道管、特に鋼管の部分については、中心市街地において多く使われており、その多くは昭和28年から昭和30年代前半に布設されたものである。

今回、生活基盤施設耐震化等交付金に該当する鋼管は、あくまでも基幹管路として扱われるものが該当となるが、本市においては、国道113号に埋設されている管や、旧国道4号、市

道中央通線などに埋設されている一定以上の太さのある管路など、水道事業においてメインとなる管について基幹管路の位置づけを行なっている。

来年度においては、旧国道4号の配水管について、この交付金を活用し、老朽管更新を行なうていきたいと考えているが、申請し採択を受けることが前提となるため、採択に向けて努力していきたい。

〔質疑〕今回、基幹管路のみ認められたことだが、基幹管路は、本市の管路からいうと、何割ぐらいに該当するのか。

〔答弁〕割合としては出していないが、国道113号あるいは旧国道4号のほか、例えば、二ツ森水源池から市内の配水池に水を持ってきている管路など、そういった重要な管路について基幹管路として位置づけをしていきたいと考えている。

この基幹管路の扱いが交付金事業の対象となったのは今年度からであることから、基幹管路についてどこまで扱って

ただけるかは、今後、県とも協議しながら探していきたいと考えている。

〔質疑〕基幹管路として認めてもらえるかは今後の課題だと思いが、それを認められたとしても、国の予算が認められない本市の鋼管は大分残るといことになるのか。

〔答弁〕現状としては、基幹管路として認められないであろう鋼管も大変多くあるが、今回の交付金のいかんにかかわらず、上水道再構築計画においては、計画的に更新を行なっていくこととしている。

ただ、財源的に交付金対象となれば、非常にメリットがあることから、今後もそういった国の交付金事業を最大限活用しながら鋼管の更新について取り組んでいきたい。